



ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

いつも〈にっしん〉をご利用いただきまして心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年度の国内経済は、いわゆるアベノミクスの推進や期待感から、円高の是正や株式市場の回復が進み、大企業を中心に業況の改善が強まりました。

しかしながら、地域経済は、少子高齢化、空洞化による中小企業の減少といった構造的な問題を抱える中で、円安に伴う原材料高などの影響もあって、景気回復の実感を得るまでに至らず、地域の資金需要は依然として低迷状態にあります。

こうした中、平成26年3月末の預金残高は6,681億円、貸出金残高は2,935億円となりました。預金は、スーパー定期「タコちゃん」や「地域おうえん定期預金」などを大勢のお客様にご利用いただき、お蔭様で順調に推移いたしました。貸出金につきましては、地域のご要望にお応えするよう積極的に取り組んでまいりましたが残念ながら減少となりました。より一層見知を広め、地域の皆様にご満足いただけるよう商品の開発や的確な資金の提供に全力を挙げてまいります。

収益面につきましては、一般企業の売りにげに当たる業務収益は、貸出金利回りや市場金利の低下などによって減収となりました。しかし、不良債権の発生が少なかったことと経営改善支援の成果もあって、不良債権処理費用が大きく減少し当期利益は753百万円を計上することができました。

また、経営の健全性を示す自己資本比率は11.12%（国内基準4%）と安全性を十分に堅持しております。

〈にっしん〉は、地域産業の振興・活性化の支援として、産学公人材イノベーション推進協議会との連携協定を締結し、若手経営者や後継者の育成・交流の支援や、国立明石工業高等専門学校との連携により技術支援を目的とした「出前講座」の実施、明石高専産学連携交流会の設立に参画し異業種交流の支援、また日本政策金融公庫との連携を締結し、地域の中小企業創業支援などの活動を行ってまいりました。お客様が必要とされる情報や技術の提供などにも注力しお役に立つよう、精一杯努めてまいりたいと考えております。

今後とも「地域社会に密着し、お役に立つ信用金庫として信頼される」を旨とし、先行き不透明感もあり当面は厳しい環境が予想されますが、皆様に喜んでいただける金融サービスの提供や課題解決について懸命に取り組んでまいります。

従来に増してのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月

理事長 和田 吉正